

内は総合的な学習の時間の単元名

太字は学年の主要単元

重点：年間を通して、「つなぐ化」「カリキュラムマネジメント」に協働的に取り組む 「自分づくり教育」との関連を発達段階に応じて整理

防災対応能力の構成要素		知識	技能	態度	新防災教育副読本他教材等	
月□□	行事等	防災教育関連単元(教科等) 関連学習内容等	防災や災害に関する 周知的・基礎的な内容	防災や災害に関する 直接的な内容	防災や災害に関する 間接的な内容	
4	交通安全教室 授業参観・懇談会	「交通安全教室」(学校行事) 地区班たてわり活動開始	自転車の安全な乗り方 交通ルール 道路・歩道通行のマナー	危険予知・回避 自転車整備	登下校・自転車走行中に安全に行動しようとする。	わたしたちの安全
5	避難訓練(地震) 家庭訪問 故郷復興プロ 学区民運動会	「避難訓練(地震)」(学校行事) 「故郷復興プロジェクト」(業前)	地震時の危険 AEDの位置確認 仙台市の復興についての取組 復興に向けての課題	身の守り方・避難の時の行動の仕方	自他の安全のために、真剣に行動する。 地域のため、復興のために自分たちができることに取り組もうとする。	防災副読本第4章1 災害が起きたら わたしたちの安全 防災副読本第1章2 歩み出す力強く
6	授業参観 防犯・引き渡し訓練 地域合同防災訓練 (青葉区総合防災訓練)	防犯訓練 引き渡し訓練 <b>地域合同防災訓練</b>	不審者による危険・事故、身の守り方	不審者からの身の守り方 保育園児の避難所でのお世話 濃煙体験	冷静に行動しようとする。 自分のできることを進んで行う。 共助の行動を体験的に学ぶ。	私たちの安全 防災副読本第4章3 災害に備える 5章3 取り組もう! ボランティア活動
7	着衣水泳 エコ・ハッピー祭り	「心の健康」(保健) 災害の緊急時対応を考えよう(総合)	心の発達 健康 体との関係 悩みの対処法 水の事故の実態 身の守り方 被災時の心の動き	様々な悩みの対処法 仲間との相談の仕方 浮かび方 抵抗の少ない泳ぎ方 救助の仕方 クロスロードゲーム	心を日ごろからケアし、仲間と声を掛合うことの大切にしてしようとする。 不測の事態に備えて、体験しながら考えて身に付けようとする。 被災時にも慌てずに判断する。	養護教諭 防災副読本第4章8 心と向き合って わたしたちの安全 消防団長 クロスロードゲーム
8	避難訓練(火災) 学校に泊まろう!	避難訓練・業間(火災)	火災時の危険・守り方	火災時の身の守り方・避難の仕方	それぞれの災害に特徴的な危険や身の守り方を考え、行動に生かそうとする。	わたしたちの安全
9	プール納会 授業参観・懇談会 泉ヶ岳野外活動	「台風と天気の変化」(理科) 「心と身体のケア」(学活)	台風特有の動きと、台風がもたらす被害(土砂災害・竜巻・集中豪雨等) 山野での危険・身の守り方 心と身体の変化	情報の生かし方 身の守り方 心と身体のケアの仕方	災害に対して日ごろから備えをし、情報を生かそうとする。 <u>自分や友達の心や身体の変化を感じて、声をかけ合う。</u>	防災副読本第3章3 いろいろな自然災害 気象庁DVD教材 防災副読本第4章8 心と向き合って スクールカウンセラー
10	和・話・輪フェスティバル(地域貢献) 宮町秋祭り参加	「かたづけよう身の回り」(家庭) 「災害時の情報手段」(社会)	整理整頓と身を守ること 情報の正誤判断をすることの必要性	効果的な、安全な整頓の仕方 情報収集と判断・活用	日頃から安全のためにも整理する。 情報を目的に応じて収集し、判断して活用しようとする。	防災副読本第3章4 災害時の情報手段
11	市民センター祭り 故郷復興プロジェクト	「わたしのボランティア体験」(道徳) 復「感謝の会」(行事) (市民センターまつりで発表)	様々なボランティア活動が地域の暮らしや復興を支えていること	地域の各団体の方を、学校にお招きして感謝の気持ちを全校児童で伝える。	地域の方々に感謝の気持ちを持つ。 自分たちができることを実践・継続しようとする。(市民センターまつりでの発表につなげる)	防災副読本第5章3 取り組もうボランティア活動 作文集「はなむら」 1章2 歩み出す力強く
12		「自然災害の防止」(社会) 「けがの防止」(保健)	国や自治体の防災対策 共助の取組 けがの発生の現状・災害時のけがの仕方 好きなもの・嫌いなもの・必要なものを表す英語表現	公助の取組と自分達の生活・共助とのかかわりを調べる。 <u>具体的に焦点化して調べる。</u> 簡単なけがの処置の仕方 救急車の呼び方 必要なものを尋ねる英語表現に親しむ。	地域の暮らしを守るために自分たちができることをしようとする。 <u>実践して成果を振り返る。</u> 安全に生活するために行動に気を付ける。 的確にけがの処置をしようとする。 <u>英語で進んで必要な物を聞き合い、助け合おうとする。</u>	防災副読本第2章3 未来へつなぐ 仙台市危機管理室減災推進課 仙台市地震防災アドバイザー 第4章1 災害が起きたら 第4章7 応急手当の方法と救急車の呼び方(養護教諭)
	よりよい活動内容を検討	公助・共助のこの地域の具体を把握 児童の活動として有効な内容を実践 What do you want?(外)				
1	校内書きぞめ展 フリー参観	<b>防災のための活動をしよう(防災宣言を発信しよう!)</b> (総合)	防災宣言広報の意義 各学年の活動内容	各学年の取材(情報収集)	今年度の各学年の防災・地域交流・貢献の取組を進んでまとめようとする。	国際理解・異文化理解のコミュニケーションと共助の関連
2	旧正月を楽しもう!!(地連) 授業参観・懇談会		平成27年度版防災宣言のまとめ方	地域への広報活動の進め方(情報の整理・まとめ・発信)	自分たちの取組を地域の人々に発信して、自分たちの姿勢を知っていただくとする。	
3	故郷復興プロジェクト 6年生を送る会	故郷復興プロジェクト(行事)	市や県の復興の様子 人々の努力の様子		よりよいまちを自分たちがつくるために、できることをこれからも継続しようとする。	防災副読本1章2 歩み出す力強く
5~12		支え合うくらし~人とふれ合い、地域を知ろう~(総合)	防災・減災のために地域の絆を強めることの重要性 幼児や障害がある方とかかわる時にたいせつなこと	保育園児・視覚支援学校の児童との交流会を行う。 キャップハンディ体験 市民センターまつりでのブース発表	「和・話・輪フェスティバル」へ参加し、進んで地域の方々と交流しようとする。 幼児や障害がある方の立場にたって、自分たちができることをしようとする。	(中江保育園・視覚支援学校)(PTA・支援本部 地頭防災連絡会 地域教育協議会 町内会 社会福祉協議会等、地域の各団体 市民センター) 防災副読本 第5章3 取り組もうボランティア活動

原因や災害の危険性について理解し、自他の命を守るために適切に行動しようとする児童

【共助】相手の立場を理解して、進んで他の人たちと協力し合える児童を育成する。

北六番丁小学校 第5学年 防災対応能力 (防災対応能力項目別一覧表より抜粋・「防災対応能力に係る項目別学習内容表」も参照)

活動の目標を常に児童と共に確認する。(全学年共通)

内容	知識	技能	態度(重点:かかわる力)	思考・判断・行動(主なもの)
	台風と天気の変化(理科) 流れる水の働き(理科) 地震・津波・風水害発生のメカニズム これまでの主な災害と被害の状況・復興の歴史 避難所の状況と変化 避難所で自分達にできること 地域合同防災訓練での中江保育園園児の世話 自助・共助・公助 自治体の防災・減災の取組 「自然災害の防止」(社会) 工業生産と物流 「災害時の情報手段」(社会) 災害発生時の物流 救援物資 情報の特性 被災時の情報通信の状況・情報収集の仕方 地域の建物の特色・耐震	野外活動中に被災した場合の危険予知と護身・避難 応急手当の方法と救急車の呼び方(保健) AEDの設置場所確認(避難訓練) 避難所での中江保育園園児の世話 障害がある方をサポートする 心の健康(保健) ピア・カウンセリング 地域への広報活動 ・福沢市民センター祭りでのブース発表 ・「北六小防災宣言」の発信 被災時・平時の情報収集の技能 「家族防災マニュアル」の見直し	状況に応じた冷静な判断や行動 主体的に行動する力 命を大切にし、他人を思いやる心 他と協力する態度 ボランティア精神 地域の人々と積極的にかかわる態度 困難に負けない強い心 夢や目標をもつ心	様々な状況によって起こりうる災害と対処方法を考える。 けがを防止するための行動・手当の仕方・けが人や倒れている人を発見したときの対処方法を考える。 避難所で保育園児のお世話をする。 防災について自分達ができることを考え、相手の立場を理解した交流活動や適切な広報活動を実践する。 <u>今年度重点・公助の体制について調べ、自分達の生活(共助)との関わりを考える。</u> 災害などにより心の健康が保てなくなることは誰にでも起こりうることを知り、周りの人に対して自分ができることを考える。

